



2025年は
天王寺区制100周年

天王寺

上町台地周遊MAP



天王寺区マスコットキャラクター
もてんちゃん 100周年 ver.

天王寺と博覧会

天王寺区は、主要な博覧会がいくつも開催されてきた「博覧会のまち」です。かつては中心市街地の南東に位置したため、利用可能な土地が広がっていたのです。

明治時代には、殖産興業を進めるために内国勧業博覧会が開催されましたが、その第5回は大阪で開かれ、500万人以上の入場者を集めました(1903年)。ちなみに、その跡地は天王寺公園や新世界になっています。また、1925年には大阪市市の第二次市域拡張にあわせて、天王寺公園などで大正記念博覧会が開催され、躍進する「大正」の姿がアピールされました。

戦後は、夕陽丘で復興大博覧会が開かれ(1948年)、戦災を克服して立ち上がる人々を勇気づけました。1987年には、「てんぱく」の略称で親しまれた天王寺博覧会が開催されました。マンモス館が話題を呼んだので、記憶にある方もいらっしゃるかもしれません。

大阪大学総合学術博物館
教授・副館長 船越 幹史 (著)



復興大博覧会入場門

大正記念博覧会会場俯瞰図

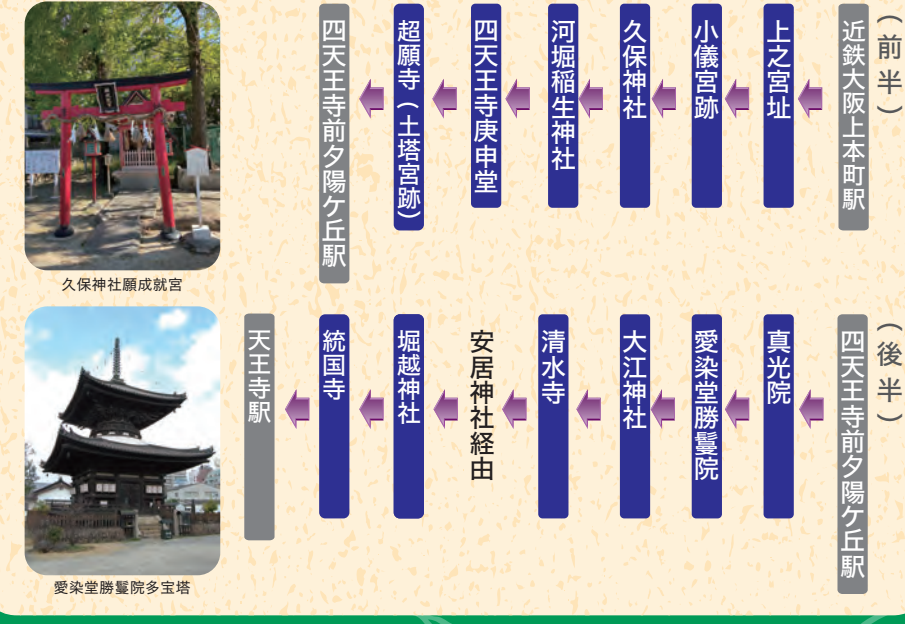
聖徳太子ゆかりの地 散策ルート

凡例
.....

天王寺区に数多くある聖徳太子ゆかりのスポットをめぐる散策ルートをご紹介します。

久保神社、大江神社、河堀稲生神社、堀越神社、土塔神社、小儀神社、上之宮神社をあわせて四天王寺七宮といい、聖徳太子が四天王寺を創建した際に外護(げご)としてこれらの七つの神社を建立したとされます。小儀神社、上之宮神社、土塔神社は明治期に大江神社に合祀されているため、小儀神社と上之宮神社は、小儀宮跡、上之宮址として現在は石碑のみになっています。土塔神社は、現在の超願寺にあったと推定されていますが、石碑などは残っていません。

前半、各2〜3時間のコースとなっておりますので、ぜひ聖徳太子ゆかりの地をお訪ねください。



真田 幸村 (信繁)

本名は真田源次郎信繁と云い、父も祖父も武田信玄の家臣でした。慶長19年(1614)大坂冬の陣、翌20年(1615)大坂夏の陣で大活躍したことで、上町台地にも馴染みが深く、特に大坂夏の陣では、少ない兵力で徳川本陣まで攻め込み、徳川家康をあと一歩のところまで追いつめたとされています。江戸期以降、講談や小説などフィクションの世界で真田十勇士を従えて「大敵」家康に挑む天才軍師、真田幸村として広く一般に知られることになりました。

～戦国武将・家紋～



幸村ゆかりの地の 見どころ・道標 (ロードサイン)

真田丸顕彰碑

真田幸村(信繁)が大坂冬の陣で築いた大坂城の山城「真田丸」があったとされる大阪明星学園の東側、心眼寺に建つ「真田丸顕彰碑」。慶長19年(1614)の大坂夏の陣で奮闘した幸村と「真田丸」の戦い、大坂城の山城として築かれた「真田丸」について解説しており、大坂夏の陣の際の豊臣軍・徳川軍の陣立ての様子もご覧いただけます。



真田幸村めぐりルート

真田幸村が築いた大坂城の山城「真田丸」跡地をはじめ、区内に多数存在する幸村ゆかりの名所・旧跡を巡る「真田幸村めぐりルート」を設定し、大坂夏の陣最大の激戦地「真田山エリア」、大坂夏の陣で幸村が本陣を築いた茶臼山を有する「天王寺エリア」に幸村ゆかりの地を案内するロードサインを設置しました。

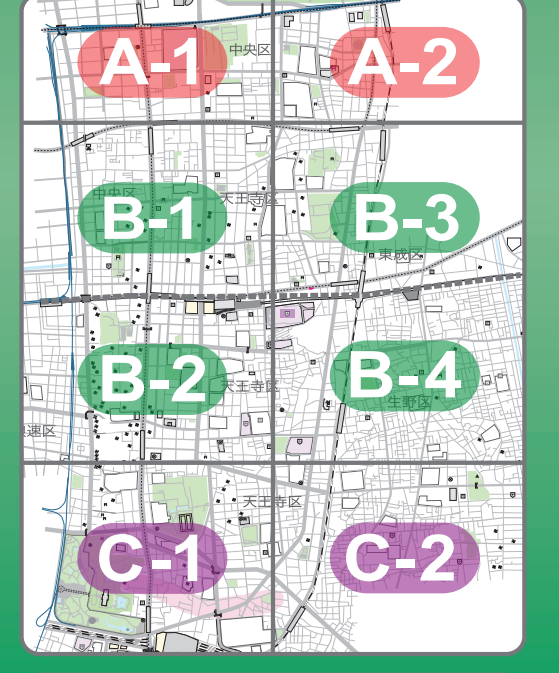


地図の おすすめ魅力スポットを 7色に分けて表示しています。

- 聖徳太子ゆかりのスポット
- 歴史・戦国武将スポット
- 天王寺七坂スポット
- 寺・夕陽丘スポット
- わくわく魅力スポット(難波宮・古代)
- わくわく魅力スポット(芸能・文化)
- わくわく魅力スポット(公園・近代・その他)

裏面に解説を掲載している魅力スポットもあります。下のA・B・Cのブロック分けを参考に、裏面の同じ色の項目から探してみてください。その地になんたな人物や出来事を探しながら、実際に歩いてみるのももちろんのこと、地図の上だけでも散策をお楽しみいただけます。

※お寺や神社を見学される際には、所有者や参拝者の迷惑とならないように配慮をお願いします。



地図ベースデータ提供：西代宮山クラブ
武 将 イラスト提供：有限会社イー・オフィス
協力：大阪城天守閣
発行：大阪市天王寺区役所 第12版(令和6年11月)

ホームページからもダウンロードできます。
上町台地周遊マップ 検索

